

## 平成 12 年度 病害虫発生予察注意報 第 2 号

病害虫名： クモヘリカメムシ  
( 斑点米の原因となる )  
セジロウンカ  
対象作物： イネ

### 1. 注意報の内容

- (1) 対象地域 普通期水稻栽培地域
- (2) 作物名 イネ
- (3) 発生量 多

### 2. 注意報発令の根拠

#### クモヘリカメムシ

- (1) 8 月 15～17 日にかけて実施した水稻の調査で、青梅市、町田市、あきる野市の主に山間、中山間の地域で、一部の生育が進んだ開花期にある水田に集中してクモヘリカメムシが多発生しているのを確認した。
- (2) 今後、開花期に入る水田が増えるに従い、クモヘリカメムシが各水田に分散する。
- (3) 向こう 1 か月の平均気温は高いと予想され、今後も発生に好適な条件が継続すると予想される。

#### セジロウンカ

- (1) 8 月 15～17 日にかけて実施した水稻の調査で、多摩地域全域で発生が多く、特に青梅市、羽村市、あきる野市、昭島市、町田市等の一部の水田では葉の黄変が見られた。
- (2) 激発すると坪枯れ状に枯れる事がある。
- (3) 向こう 1 か月の平均気温は高いと予想され、今後も発生に好適な条件が継続すると予想される。

### 3. 防除対策

#### クモヘリカメムシ

- (1) 山間地やイネ科牧草地の周辺では、発生が多くなる傾向があるので注意する。
- (2) 薬剤防除は出穂期及び乳熟期から糊熟期（出穂後 14 日頃）の 2 回行う。その後も水田内のカメムシの発生状況に注意する。
- (3) 畦畔や休耕地に出穂したイネ科雑草がある場合は畦畔も含めて防除を実施する。なお、出穂期間近の畦畔の草刈りはカメムシ類を本田内に追い込む恐れがある。
- (4) 使用薬剤は平成 12 東京都病害虫防除基準に基づいて選定する（第 1 表参照）。
- (5) 今後の発生予察情報及び気象情報に留意する。

## セジロウンカ

(1)薬剤による防除は、クモヘリカメムシと同時防除が可能である。

第 1 表 防除薬剤例（いずれも両害虫に使用できる）

薬 剤 名	収穫前日数	使用回数
MR . ジョーカー粉剤 D L	7 日	2 回
スミチオン粉剤 2 D L	1 4 日	5 回
バイジット粉剤 2 D L	2 1 日	2 回
トレボン乳剤	2 1 日	3 回
バイジット乳剤	3 0 日	2 回